

NAGOYA GOODGREEN AWARD

2021



なごやグッドグリーン賞 総評

「なごやグッドグリーン賞」は、名古屋市内の民有地の優良な緑化事例を顕彰することにより、民有地緑化の普及促進や質の向上を図ることを目的として設立し、平成27年度に、全国都市緑化あいちフェアに合わせて第1回の表彰を行いました。この表彰は、名古屋市が実施する様々な緑化施策の効果を検証するためにも有効であると考えられ、平成30年度に第2回の表彰を行い、本年度、令和3年度に第3回目の募集を行いました。本賞の審査対象は、名古屋市内にある民有地の緑化であり、審査の5年以内に施工されたものとなっています。募集は個人住宅部門、集合住宅部門、事業所部門の3部門で行われ、全部で49件（個人住宅部門19件、集合住宅部門13件、事業所部門17件）の応募がありました。令和3年10月28日に名古屋市役所会議室で行われた審査会の結果、それぞれの部門の部門賞、入賞作品が決定されました。また、全部門を通じた最優秀作品として大賞が選定され、それらとは別に特別賞も選定されました。特別賞は第2回の審査から設けられたもので、狭小な敷地における緑化や屋上・壁面緑化の導入など、限られた敷地の中で工夫が凝らされた緑化を対象としています。

この作品集は、どのような作品が、どのような評価視点で受賞したのかについてまとめたものになります。本賞の大きな特徴としては、市民や事業者が参考としやすい「身近な緑」であることを重視するという点にあります。規模の大きさや工事費の大きさなどは、あまり重視されていません。そういった意味で、本作品集には、市民活動の場において参考になるような創意や工夫に富んだ事例が数多く盛り込まれていますので、これからの民有地緑化の推進に大いに役立てていただきたいと思います。



第3回なごやグッドグリーン賞審査委員会
座長

山田 宏之 | Yamada Hiroyuki

受賞作品一覧

■ 個人住宅部門 ■ 集合住宅部門 ■ 事業所部門

大賞

■01 パークシティ富士見台 公開空地

部門賞

個人住宅部門

■02 I邸

集合住宅部門

■03 パークホームズ LaLa 名古屋みなとアクルス

事業所部門

■04 医療法人杏園会 熱田リハビリテーション病院

入賞 (順不同)

■05 徳川山町の家

■06 傾斜地の庭

■07 K + T 邸

■08 シティタワー葵

■09 グランドメゾン汐路

■10 VERMICULAR VILLAGE DINE AREA・STUDIO AREA

■11 愛知学院大学 名城公園キャンパス

■12 浅間神社前 PJ

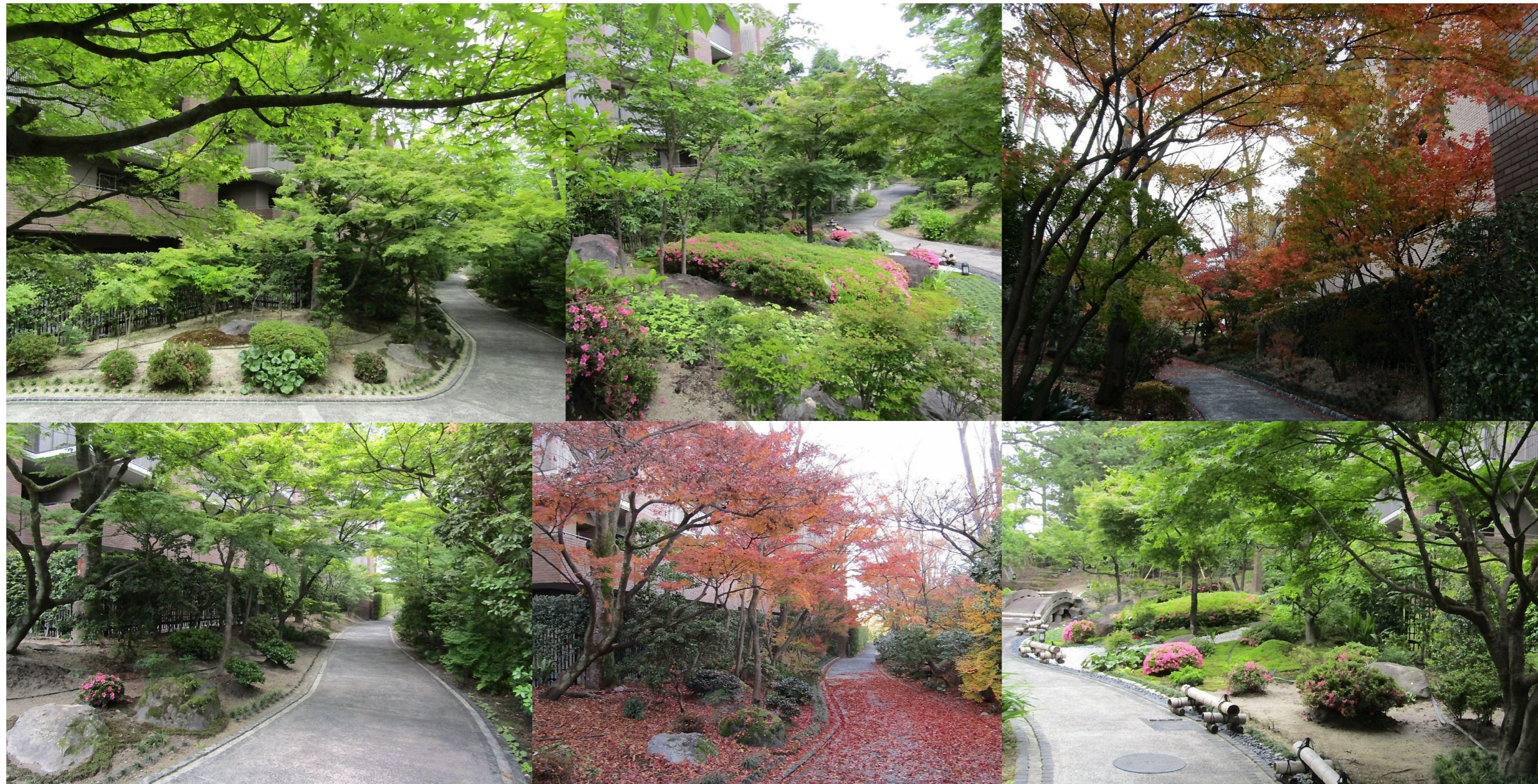
特別賞 (順不同)

■13 A邸

■14 茶房花千花

■15 医療法人和光会 川島病院

大賞



01 パークシティ富士見台 公開空地

集合住宅の緑地を公開空地として地域へ公開するという手法は、過去にも多く行われており、様々な場所で見ることができますが、本作品の特徴は、住民によるこだわりの強さにあると思います。元々生えていた既存樹木も大切に生かしながら、地域性のある在来種の植栽やシンボル性のある樹種の植栽を行い、劣悪な土壌の入れ替え作業も行うなど丁寧に育てられています。選定基準に照らし、公開性の高さ、在来種へのこだわり、緑の質と量、などの点を評価するとともに、他への波及効果も期待して顕彰したい事例として評価しました。各審査委員からは、個性ある公開空地である、マンション住民のこの庭への思いも大切にしたい、集合住宅の緑化の理想形といえるのでは、といった推薦意見が挙げられ、本賞の趣旨と照らし、最も優秀であると認められました。

山田 宏之 | Yamada Hiroyuki

02 | 邸



「庭の自然と共に暮らしたい」と考えた住人と、それを住宅設計のコンセプトにしている建築家によって生まれた自然豊かな現代庭園。しかしこの庭が目されたのは、単に名園だったからではなく、公共にも役立つ緑と自然を提供している点にありました。その一つは塀の内外に多種多様な高木や下草を植えて、豊かな自然を共有していること。二つ目はその樹や下草に名札を付けて通行人に名前を知ってもらおうという試みでした。公園だけでなく、個人の庭でも市民に緑や自然を提供している好例として選定されました。

糟谷 護 | Kasuya Mamoru

■ data / 個人住宅部門（部門賞）
 設計者：有限会社横内敏人建築設計事務所
 施工者：有限会社東杏園（造園）
 矢橋林業株式会社（建築・外構）
 所在地：千種区

03 パークホームズLaLa名古屋みなとアクルス



2,900㎡超という緑化面積とバラエティに富んだ緑の配置は都市空間への大きな貢献であり、高く評価したい。敷地外周の緑地帯は、地域の環境や景観に大きく寄与する。この集合住宅の外周道路を散歩や通勤等で歩く人々に魅力ある空間を提供するだろう。敷地には高木から中低木までバランスよく配置され、駐車場緑化、駐輪場の屋上緑化など多様な緑を展開している意欲的な緑化である。花のある木、紅葉する木、実がなる木と様々な木が植樹され、四季折々の変化のある景観をつくっている。木々が時間の経過とともに立派に育つと、より堂々とした空間になり、いっそう周辺へのプラスの影響が期待できる。とりわけ、敷地を貫通し地域に開放されている緑道は長く存在感があり、将来が楽しみなみちとなっている。

阿部 順子 | Abe Junko

■ data / 集合住宅部門（部門賞）
 所有者：パークホームズLaLa名古屋みなとアクルス管理組合
 （三井不動産レジデンシャル株式会社）
 設計者：株式会社長谷工コーポレーション
 施工者：株式会社長谷工コーポレーション 株式会社日比谷アメニス（造園）
 所在地：港区港明二丁目501番9号

■ 04 医療法人杏園会

熱田リハビリテーション病院



今日の病院は、病の概念の変容とともに、その在り方も変わりつつある。なかでもリハビリテーション病院は、日常生活へのシームレスな移行を目的としており、その空間も日常性を考えていかなければならない。こうした日常性の担保と演出に、グリーンが大きな役割を付与する好例として、熱田リハビリテーション病院の取り組みがある。商業地域・駅近の立地の中で「鎮守の森」をイメージし、さらにリハビリ患者やスタッフ、家族、地域住民が憩えるように、園路のところどころにベンチを設置し、公園として地域のコミュニティーハブを目論むなど、街区全体への連続性を意識した緑化が評価された。安全安心にリハビリに取り組める庭園に加え、地域住民が自由に入出入りする公園が身近にあることも、病と向き合い、日常生活への復帰を目指す人々の背中を押す力となるであろう。

藤井 尚子 | Fujii Naoko

■ data / 事業所部門（部門賞）

所有者：医療法人杏園会

設計者：株式会社大建設計名古屋事務所

施工者：戸田建設株式会社（植栽：株式会社岐阜造園）

所在地：熱田区比々野町 32 番地

■ 05 徳川山町の家



■ data / 個人住宅部門 (入賞)
所有者: 川崎拓二 川崎律子
設計者: KKarchi 川崎建築設計
川崎拓二 川崎律子
施工者: 箱屋
所在地: 千種区徳川山町3丁目3番9号

傾斜のある敷地を活かし、建物と緑の調和が美しい景観を形成している。高所の建築物は街並みに圧迫感をあたえがちだが、道路に面した法面に植栽することで威圧感が軽減されており、また、緑のボリューム感を出している。街並みに自然を取り込んだ雰囲気を感じさせる。

■ 07 K + T 邸



駐車場や玄関アプローチといった建物の機能と植栽が見事にマッチしている。塀の高さが比較的低く、駐車場の跳ね上げ扉もスリットのため街並みと住宅をはっきりとは分けず、開放感がある。そこにグラス系の軽やかな植物を配することにより、圧迫感のない優しさがある。街並みの中に草原を感じられ、デザイン性が高い。

■ data / 個人住宅部門 (入賞) 所有者: K+T 設計者・施工者: 有限会社ブルームアンドブルーム 所在地: 昭和区

■ 06 傾斜地の庭



■ data / 個人住宅部門 (入賞)
設計者: 株式会社園三
施工者: 株式会社園三
所在地: 瑞穂区弥富ヶ丘町

道路からの景観が良好で、高低差を活かした庭のデザインが美しい。急な傾斜地は山などの斜面の一部を拓いたものと考えられるが、作庭によって、住まいながら土地の「オリジン」をたどるような景観づくりは、地域にとっても無理のない環境整備となる好例である。

■ 08 シティタワー葵



道路に接した3面において公開空地として整備されたもので、それぞれを「春の路」「夏の間」「秋の路」と銘打って季節をテーマにした植栽がされており、ストーリー性があり特徴的である。緑の少ない道路の景観形成に寄与しており、また、園路に溜まりの場所やベンチを配置し、居住者だけでなく地域の方々が緑を楽しめる憩いの空間となるよう工夫されている。

■ data / 集合住宅部門 (入賞) 所有者: シティタワー葵管理組合 (住友不動産株式会社)
設計者: 株式会社長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部
施工者: 株式会社長谷工コーポレーション
所在地: 東区葵一丁目205番

入賞

■ 個人住宅部門 ■ 集合住宅部門 ■ 事業所部門

■ 09 グランドメゾン汐路



連続して植栽することで緑のボリューム感を出しており、緑のない道路に面していることから、街の緑としての役割も果たしている。小鳥や蝶などの好む樹種を選定するなど、自然全体への配慮も魅力的である。将来的に樹木が成長し、さらに緑豊かな空間となることが期待できる。

■ data / 集合住宅部門 (入賞)
所有者：グランメゾン汐路管理組合
(建築主：積水ハウス株式会社名古屋マンション事業部)
設計者：株式会社IAO 竹田設計 大島造園土木株式会社 (造園)
施工者：鉄建建設株式会社名古屋支店 大島造園土木株式会社 (造園)
所在地：瑞穂区石川町1丁目1番地2

■ 10 VERMICULAR VILLAGE DINE AREA・STUDIO AREA



中川運河沿いに建築された商業施設の緑化であり、豊かな緑の風景が創出された。自然素材の建物との調和もよく、緑により明るい雰囲気演出している。川沿いの場としての新たな価値を創造しようとする意欲が感じられ、将来的にさらに魅力あるスペースとなる可能性も期待できる。

■ data / 事業所部門 (入賞) 所有者：愛知ドビー株式会社 設計者：株式会社ふるうち設計室
施工者：有限会社岡本環境造園
所在地：中川区舟戸町4 運河沿い(DINE AREA)
舟戸町2 運河沿い(STUDIO AREA)

■ 11 愛知学院大学 名城公園キャンパス



老朽化した住宅団地から大学の新たなキャンパスとして生まれ変わったもので、隣接する名城公園との緑の連携にも配慮しており、公開性が高く、広々とした緑の空間が創出された。圧倒的な存在感を示すグリーンマウンドは名古屋城近辺のイメージアップに大きく貢献している。

■ data / 事業所部門 (入賞)
所有者：学校法人愛知学院
設計者：造園家 東京都市大学特別教授 愛知学院大学特任教授 涌井史郎 (全体監修)
株式会社大建設 (建築) 株式会社クロス・ポイント (ランドスケープ)
施工者：株式会社熊谷組名古屋支店
所在地：北区名城三丁目1番1号

■ 12 浅間神社前PJ



歴史ある街並みや建物と調和しており、空間として美しくデザインされている。比較的狭い敷地の中で効果的に樹木を配し、樹形を活かすことによって奥行き感を出している。地域へも開放され、憩いや安らぎが感じられる。

■ data / 事業所部門 (入賞)
所有者：株式会社不動産工房 小野壽登 設計者・施工者：仲本造園 所在地：西区那古野一丁目28番14号

特別賞

■ 個人住宅部門 ■ 集合住宅部門 ■ 事業所部門

■ 13 A邸



■ data / 個人住宅部門 (特別賞)

所有者：青木
設計者：青木
施工者：青木
所在地：千種区

建物と道路の間の狭小スペースに家族によって手作りされた緑化で、できることから始めていることに好感が持てる。色や大きさも様々な植物を用いており、小さくとも魅力的な空間となっている。

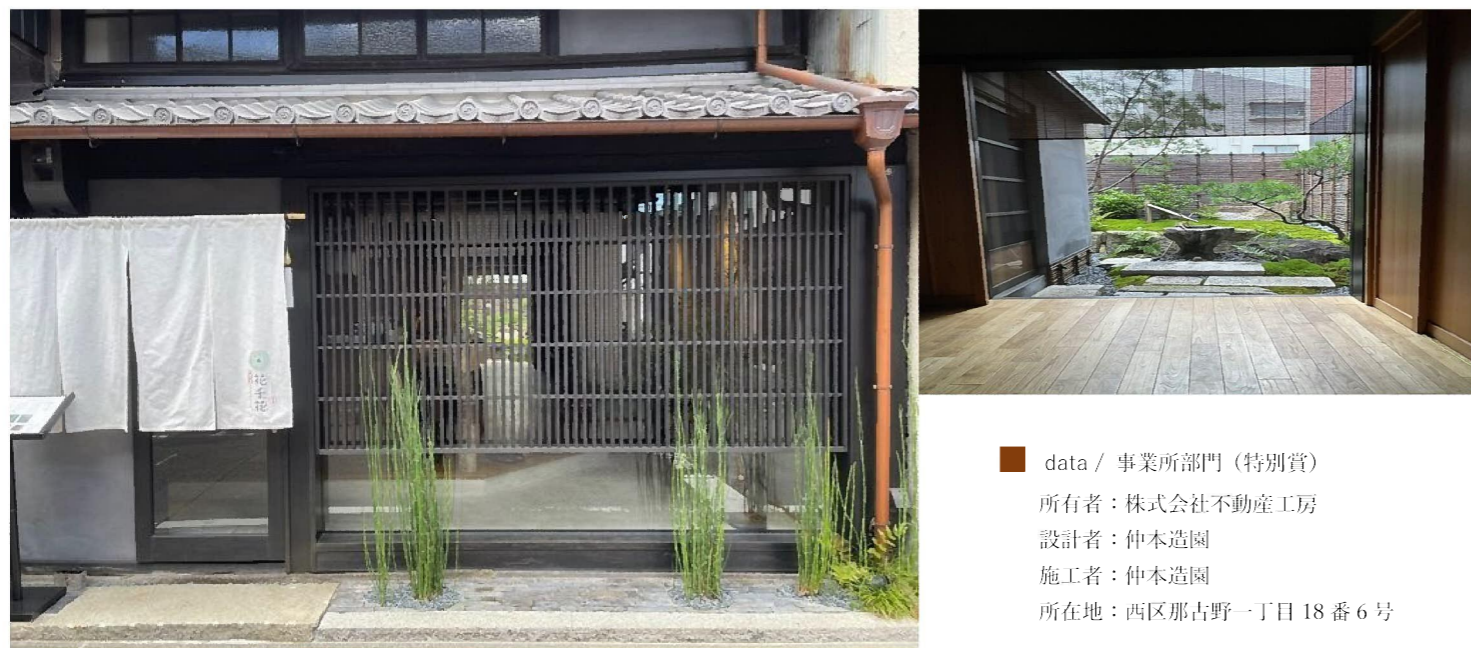
■ 15 医療法人和光会 川島病院



■ data / 事業所部門 (特別賞) 所有者：医療法人和光会 設計者：株式会社東畑建築事務所
施工者：株式会社松村組 所在地：守山区白山三丁目 501 番地

屋上庭園が充実しており、園芸療法に取り組むことができるなどリハビリに利用しやすいように工夫されている。地域医療を支える施設として、利用者に緑で癒しを提供しようとする意欲が感じられ、今後の病院緑化の参考となる好例である。

■ 14 茶房花千花



■ data / 事業所部門 (特別賞)

所有者：株式会社不動産工房
設計者：仲本造園
施工者：仲本造園
所在地：西区那古野一丁目 18 番 6 号

古民家をカフェに改修したもので、建物構造（ガラス・格子）の工夫により、中庭というプライベートスペースを借景として緑化に寄与するアイデアが秀逸である。トクサだけの前庭と道路から垣間見られる「和」の中庭が楽しい。

第3回 なごやグッドグリーン賞 概要

「なごやグッドグリーン賞」は名古屋市内の民有地の優良な緑化事例を顕彰し PR することにより、民有地緑化の普及促進や質の向上を図ることを目的とし、平成 27 年より開催しています。

- 応募対象 名古屋市内の民有地緑化で 5 年以内に施工されており、選定基準に該当するもの。
個人住宅部門：個人邸（戸建住宅含む）
集合住宅部門：アパート、マンションなど
事業所部門：店舗、商業施設、オフィスビル、工場など
- 選定基準
 - ① 街並みとの調和
 - ② 緑化デザイン・植栽計画
 - ③ 緑のボリューム・多様性
 - ④ 季節感
 - ⑤ 緑化手法
 - ⑥ 適切な管理
- 選定過程

| | |
|------|-----------------------------------|
| 応募期間 | 令和 3 年 5 月 6 日から令和 3 年 7 月 30 日まで |
| 審査会 | 令和 3 年 10 月 28 日 15 件を選定 |
| 表彰式 | 令和 4 年 1 月 21 日 |
- 審査委員

| | | |
|--------|----------------|--------|
| 阿部 順子 | 椋山女学園大学 准教授 | (建築計画) |
| 糟谷 護 | 糟谷庭園デザイン室代表 | (造園家) |
| 藤井 尚子 | 静岡文化芸術大学 教授 | (美術装飾) |
| *山田 宏之 | 大阪府立大学大学院 教授 | (都市緑化) |
| 石黒 昭充 | 名古屋市緑政土木局 緑地部長 | |

